

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

RI 会長 ホルガー・クナーク



2020~2021

ロータリーは地域とともに

富津中央RC会長 渡辺 務

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2647 第32回例会 2021. 6. 17 晴

点 鐘：渡辺 務 会長

進 行：渡辺哲夫 副 SAA

ソング：我らの生業

会長挨拶

渡辺 務 会長



先週はお休みをさせていただきご迷惑をおかけしました。

最近、オリンピック・パラリンピックについてどうやら開催の方向で進んでいるようです。オリンピック開催には賛成派と慎重派の議論がいろいろありました。その論点の中で科学的根拠をきちんと示すべきだとの主張について少し私の意見を申し上げたいと思います。

感染のフェーズがステージ3ならダメだとかステージ2はいいのか？東京都の感染者が 100 人以下だったらいいのか？私は誰もその科学的な立証はできないのだと思っています。特に最近お騒がせの「インド型変異株」。この出現により一層科学的根拠を示すことが困難になっていると感じます。政府

は、目安の数字を出せない状況を「どうなるかわかりません。」とはっきり言えないので一層混乱が広がってしまっています。

ところで先日、千葉ジェッツというプロバスケットチームがリーグ初優勝を飾りましたが、この決勝戦、会場の体育館は満員の状態でした。昨日の報道では10,000人をイベントの入場者の上限とする案や、いやオリンピックは規模が違うのでより厳しくしなければいけないという意見があります。

プロ野球は5000人を上限に観客を入れて試合をしています。一昨日のサッカーワールドカップ予選の試合は無観客でおこなわれました。地域の行事でいえば夏まつりや秋祭りが相次いで中止となったかと思えば富津市内の海水浴場は今年も開設しないことがつい先日通知されました。一方で中学や高校の総合体育大会や地域の各種スポーツはガイドラインを独自に決めて開催する団体が増えてきています。つまり人流や集会、イベントの強制的な制限ができない日本ではそれぞれの判断でその可否を決定するしかないのではと思います。

翻って来週の夜間例会について、今のままの推移が続けば開催をします。これも当クラブの中でルール検討し決定したこと。心配な方は自粛していただくというのも自由意志です。独自のルールや基準を守って行動する・参加するというのがこの国のやり方なのだと思います。これはあくまで私見ですので異論のある方はどうかご容赦ください。

ところで一つ皆さんにお願いがあります。来週の

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



夜間例会をみんなで楽しめるものにするためにこの一週間はご自身の節制に努めていただきたいと思います。感染の恐れのある場所への出入りをなくして、「夜間例会でクラスターが出ちゃった！」という事態にならないよう万全の備えでご参加いただきたいと思います。

昼間の例会は今回が最終となります。一年間を振り返ってのお話は後ほどさせていただきますと思います。本日もよろしく願いいたします。

幹事報告

栗原典子 幹事



1. ハイライトよねやま255号回覧
2. コーディネーターニュース7月号回覧
3. 袖ヶ浦 RC、木更津 RC より週報受領・回覧
4. 君津保健所地区協議会長より令和3年度千葉県「ダメ・ゼッタイ」普及運動及び国連支援募金運動の実施について資料受領・回覧
5. 君津 RC より例会変更のお知らせ
7/12(月) 12:30～14:00 ホテル千成
ガバナー公式訪問
7/19(月)夜間例会(直前会長・幹事慰労会)
6. 孫先生よりコロナワクチン接種に関する資料受領・回覧



紫陽花

会計報告

林雅彦 会計



会計より、2020－2021年度の富津中央 RC の決算報告を発表します。

私は、今期で3回目の決算報告となりますが、お陰様でだいぶ慣れました。入会当時はロータリーの仕組みが分からず難儀しましたが、今はもう一人前の会計係として発表することが出来ます。

まずは、渡辺会長・栗原幹事1年間お疲れさまでした。コロナ禍での活動自粛の中、色々ご判断が難しい年度でした。今期は金融機関に身を置く者から見ても財務内容良好に推移しております。ただ、ロータリーの活動にとっては黒字になるより赤字になるくらいの方が活発であった年度となります。今期はコロナ禍での活動自粛、巣籠もり効果の出た決算内容となっており、夜間例会・句会・宴会自粛から、皆さんの宴会代が設備へと転換、充実した年度となりました。以下決算内容の説明。

以上の収支を踏まえて次年度神子会長・岡田幹事のコロナウイルスを打ち負かす奮闘に期待を込めて決算報告としたいと思います。

皆様のご協力に感謝いたします。有難うございました。

会員卓話(1年間を振り返って)

クラブ会長

渡辺 務 会長

一年間を振り返ってという事でお話をさせていただきます。

今年度例会は来週の最終を含めて33回。通常は45回程度ですのでそれでも7割以上は開催できたのだと以外な感じですが。

休会があったりイベントや集まりごとがほとんど中止を余儀なくされ、ロータリアンとして未だ経験したことのない一年間だったとしみじみ思います。会長を仰せつかることが決定した時には市役所関係の仕事が大きく増えることが予想できましたので「これは大変なことになった」と大変不安に思っていました。しかし理事や各委員長の皆さんのご協力とすべてのメンバーの寛容の精神に助けられて何とか1年間、無事かどうかわかりませんがその役を終えようとしています。

ほとんどの会合、例えば会長幹事会や地区の集まりなどが中止となり、又、役所の仕事や行事もほとんどが同様のものとなり、当初抱いていた不安は少しずつ解消されていきましたが、人間というのは欲張りで、やっているうちに「あれがやりたい・これもやりたい」という感情も持つようになりました。残念ながらそれは一つも実行できませんでしたが、何よりも一年間皆さんと例会を楽しむことが出来て幸せに感じています。

また、つらいお別れもありました。人はそのつながりが深くなればなるほど、長ければ長いほどその人への思いが大きくなっていくのだと思います。いつかはそうなるわかっているでもそれはやはりつらいものです。そんな折に皆さんが発したそれぞれの思い出を聞くことが出来て心に沁みました。ありがとうございました。続きは来週の最終例会にお話をさせていただきます。よろしくお祈りします。

来週の夜間例会に関連して少しお話をさせていただきます。先日アウトブレイクという映画を見直しました。ちょっとお時間をいただいてあらすじをお話すると、95年のアメリカ映画で主演はダスティン・ホフマン。内容はアフリカザイル（現コンゴ民主共和国）で密輸用にとらえられた野生の猿がウイルスの宿主（しゅくしゅ）で、それに感染した人間は数十時間で100%死亡するという凶悪な出血熱のお話。あくまで映画の中でのお話で実話ではありません。それ以前にはエボラ出血熱のウイルスが実際にアフリカのスーダンやザイルで一部蔓延しこれは致死率80%から90%という事でそれを彷彿とさせるような映画でした。

映画ではダスティン・ホフマンがアメリカ軍の感染症部門の医師であり研究者として、いち早くその危険性に気付いたものの、軍上層部の意向で隠蔽されカリフォルニア州沿岸の小さな町に感染が広がり深刻な事態となっていきます。当初はもともと用意してあった治療用の抗血清が有効であったのですが、このウイルスが変異して空気感染するようになって状況が一変。多数の死亡者が出てその町2600人以上が感染する事態となります。その事態に危機感を抱いた軍はその町を丸ごと爆弾で焼き尽くす作戦を計画し実行の決断をします。それに危機感を抱いたダスティン・ホフマンは独自に宿主である猿をついに探し当て確保し、そこから抗体を採取して抗血清の生成の目途を立てますが、隠蔽が表ざたになることを心配した軍はそれを無視し、ダスティン・ホフマンを抹殺し計画通り町を焼きつくそうと強硬な態度に出ますが、彼は爆撃機の進路に小さなヘリコプターで立ちはだかり、爆撃機の操縦士たちに無線で作戦の中止を懇願します。

あわや住民たちも新しい血清も灰燼（かいじん）に帰するかに思われましたが爆弾は町から大きく外れ沖合の海上で炸裂します。操縦士たちは歪んだ軍の命令に従うよりも人命を救うことを選び、風で流されたように見せかけて狙いを外したのです。

この様にして町の人々の命は守られ、血清も残り感染者は急速に快方にむかい結末となります。この映画、この時期に改めて見直すと非常に感じるころがあります。実際に映画の中でも「アメリカ疾病予防管理センター」(CDC)が実名で出てきますし、コロナは中国武漢のコウモリが宿主と言われているが映画では猿。当初、軍が報道を制限し隠ぺいを図ったところもつい最近心当たりがありますし、感染者の複雑な心の描写やその治療にあたる医療従事者の大変さも今現実には起こっていることとオーバーラップしてしまいます。

今のコロナ禍と一つ違うところは、この映画の中で事態を収拾する手段は抗血清。今のコロナ禍の対策はワクチン接種で自分の体の中に抗体を作るということなのです。

なんでこんなお話を長々とするかという、今朝の

国や県のお話に関係しています。きょう朝、確認したのですがこの君津保健所管内でも蔓延防止の対象として加えてほしいと要望を出したそうです。それを県が受けて今晚・明日の段取りを経て蔓延防止地域の指定が行われる見込みとなりました。

内容は今までの夜間の飲食時間が一時間繰り上がる案が有力なようです。つまりお酒の提供は7時まで。8時には閉店するようになるのではといわれています。

公共施設についても同じような措置が行われるのではないかと思います。そして一番の問題はその適用の時期。おそらく今回の非常事態宣言が今月20日迄ですのでそれに続いて21日からの公算が大きいです。つまり次回の最終例会をどうするかも再検討が必要なものとなるかもしれません。

先ほど体調を万全にとお願いしておきながらその舌の根も乾かないうちにこんなお話をして申し訳ないのですが、つい先ほど入った情報として皆さんにお伝えしました。

クラブ幹事

栗原典子 幹事

1年間、会員の皆様には大変お世話になりました。あつという間の1年間でしたが、いろいろな経験をさせていただきました。次年度の神子会長・岡田幹事には大いに期待しております。有難うございました。

ニコニコ BOX

岡田良弘 親睦担当部員



渡辺 務会長 あと1回となりました。

栗原典子幹事 お陰様で、6/15 EVE40周年を迎えることができました。皆様に感謝いたします。

鎌田良子 会長・栗原幹事1年間お疲れ様でした。
石渡 鋼 私儀、この度爺様となりました。
若鍋武良 高島先生宅の件で、岡田会員にお世話になりました。

出席報告

須藤 隆 出席担当部員



区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	35/32	20	12		62.5%
前回	35/32	21	11		65.6%

理事会報告

栗原典子 幹事

鎌田良子会員は、来期よりサポート会員としてクラブの各種行事に参加予定です。



咲き誇る満開の百合